

セイスポ

星槎スポーツ新聞

第40号★2019年11月30日(土)

星槎グループ セイスポ編集部発行
神奈川県 中郡大磯町国府本郷 1805-2



大ジャンプを見せた坂田生成

初出場 SEISAの 存在感示す

■8月21日〜24日
I SU世界ジュニアアグ
ランプリフランス大会
SP 1位、FS 1位、
総合優勝
フランス・クシュベル

■9月18日〜21日
I SU世界ジュニアアグ
ランプリポーランド大会
SP 2位、FS 2位、
総合2位
ポーランド・グダニスク

■12月5日〜8日
I SU世界ジュニアアグ
ランプリファイナル
イタリア大会
イタリア・トリノ

ジュニアアグランプリ
ファイナルの出場が確定
した。
海外での戦いと国内で
の戦いは違いがあつて、
国内は積み上げていくミ
スをしなない戦い。海外は
まだ調整しながらの挑戦
をしていく戦いなんです。
国内はローカルの大会を
きちんとクリアし、次の
戦いに進むのでミスが許
されない。関東フィギュ
アスケート選手権を勝っ
て、東日本フィギュアジ
ュニア選手権へ、東日本
フィギュアジュニア選手

権は全日本ジュニア選手
権の予選会でもあり、全
日本ジュニア選手権は全
日本フィギュアスケート
選手権の予選会です。そ
して、全日本フィギュア
スケートジュニア選手権
はJOCジュニアオリン
ピック大会でもあり、ユ
ースオリン
ピック(1枠)に出
場するためにど
れも落とせない戦
いが続いている
んです。そして3月
の世界ジュニアに



鍵山優真

も出場したい。
これ以外にも11月の神
奈川ウィンタースポーツ
大会は冬季国民体育大会
の予選会でもあり、高体
連神奈川県大会の予選を
経て冬季全国高等学校ス
ケート選手権へ出場した
い。試合を多くこなして
国内は積み上げていき
たいと思っています。
来年はシニアに上が
って挑戦し続けて行きたい
と考えています。

今期は全日本の出場権
も含め、I SU世界ジュ
ニアアグランプリファイ
ナル(イタリア・トリノ)出
場権獲得、ユースオリン
ピック(スイス・ローザン
ヌ)、世界ジュニアの出場
を目指してさらに技術を
磨いて4回転の精度をあ
げ、スピニングやスケー
ティング技術を向上させ世
界に挑戦していきます。
頑張っていけますので
応援をお願いします。

北京オリンピック までの 道は続く。 星槎国際横浜鴨居 1年 鍵山優真

全国高等学校バレー
ボール選抜優勝大会神奈
川県予選が11月3日・4
日で行われ、ベスト8で
幕を閉じた。
全国高校総体予選と関
東大会予選を優勝し、注
目されて挑んだ大会だっ
たが結果を残すことがで
きなかった。
今後2人が成長するた
めに大きなものとなり、
来年関東大会、インター
ハイへと戦う2人の可能
性を開いた大会となった。
この経験を胸に冬季を乗
り越え、インターハイを
目指して戦っていきな
い。今後も陸上競技部は
SEISAの風を巻き起
こす。

全国高等学校バレー
ボール選抜優勝大会神奈
川県予選が11月3日・4
日で行われ、ベスト8で
幕を閉じた。
全国高校総体予選と関
東大会予選を優勝し、注
目されて挑んだ大会だっ
たが結果を残すことがで
きなかった。
今後2人が成長するた
めに大きなものとなり、
来年関東大会、インター
ハイへと戦う2人の可能
性を開いた大会となった。
この経験を胸に冬季を乗
り越え、インターハイを
目指して戦っていきな
い。今後も陸上競技部は
SEISAの風を巻き起
こす。

戦い、見事リベンジを果
たすことができ、相原高
等学校との試合に挑んだ。
相原高校とは、全国高校
総体予選でも対戦してお
り、嫌な相手だった。創部
初期から現在まで練習試
合をやらせていただき、
最初は全く歯が立たな
かった。毎回練習試合を
やらせていただき、成長
させていた恩のあるあ
るチームだったからこそ
勝ちたかったし、ライバ
ルチームとして負けたく
なかった。
試合は1セット目、先

にマッチポイントを取っ
たが最後の1点が遠かつ
た。最後に田中彩夏の強
烈なブロックで勝ったと
思いきやアウトの判定。
その後気持ちを切り替え
ることができず、相手エ
ースの思い切り打ったス
パークを拾うことができ
なかった。そして最後は弱
気になり、サービスエー
スを取られ、セットを落
とした。2セット目は、気
持ちを切り替えることが
でき、エース天野愛美を
中心に相手に隙を見せな
い試合展開で相手を8点
で抑えた。運命の3セッ
ト目。フルセットまでも
つれ、拮抗した試合にな
ったが最後の最後まで追
いつくことができなかった。
スタートで点差をつけら
れ、その点差を縮めるこ
とができなかった。リベ
ロ福本沙理の粘り強いレ
シーブで何度か反撃の
チャンスを作ったがチャ

史を承継していきたい。
(星槎国際湘南
女子バレーボール
コーチ 佐々木徹)

全国高等学校 バレーボール 選抜優勝大会 神奈川県予選

ベスト8

の大会は、1年間の
集大成であり、出場
することを熱望して
いた。今年は例年に
比べ出場の可能性が
高いと言われてきた
が、現実はその甘く
はなかった。
一昨年負けている
横須賀大津高等学校
とベスト16を懸けて

3年生最後の
全国大会出場
の夢は叶わなかつ
た。しかし全
国高校総体予選優
勝、初の全高
校総体出場、関
東大会予選優勝と星槎の
歴史を大きく変えてくれ
た代だった。3年生が作
ってくれた星槎の新しい歴



強烈なクイック



気合の円陣

10月19、20日
に千葉県総合ス
ポーツセンター東総運動
場陸上競技場(旭市)で開
催された令和元年度 第23
回 関東高等学校選抜新人
陸上競技選手権大会に陸
上競技専攻の坂田生成と
佐藤ロバートの2名が参
加した。坂田は9月の県
新人大会を男子走幅跳で
優勝、佐藤は男子円盤投
で3位という成績を収め
て出場。それぞれ期待を
持って勝負に臨んだ。

19日の初日は朝から「記
録的短時間大雨情報」が
発表される悪天候であつ
たが、坂田の試合の時に
は雨は完全に止んだ。試
合前も高校初対外公式
戦で緊張しているかと思
えば、いつも通り変わら
なく試合に臨むことがで
きた。天候が悪かつた
こともあり、風が強い
環境で追い風のために
風の読みが非常に重要
にもなる。坂田は出場
者の中でランキングは
2位の記録を持ってお
り、1位とは3cm差。わ
ずかの差で勝敗が決ま
るので、油断ができな
い試合となることが予
想された。

試合が始まり、坂田
は1組目試技順3人目。
1回目です速速魅せる。
不安を吹き飛ばす7m
04(追い風4.1m)の大
ジャンプ。この跳躍で今
日はやれる、イケると確
信することができ、3回
の跳躍で決まる決勝進出
はほぼ間違いないこと
を1回目の跳躍でやって
のけた。1回目が終わ
り、2回目も期待が膨ら
み、2回目の跳躍は、1回
目を超える7m05(追い
風2.3m)を跳び、1cm
あるが記録を伸ばす。そ
してこのわずかに1cm
差が明暗を分ける。3回
目はフールで記録なし
で4回目以降の決勝へ。

決勝試技順は変わり最
後の8番目。最後まで攻
めの姿勢を崩さずに、記
録は伸びなかったもの
の4回目6m93、5回
目6m92と安定した跳
躍が見られた。そして
最終6回目、
ずっと2位に付けていた
慶應藤沢の選手が素晴
ら

しい跳躍を見せ、まさか
最終で大逆転もありうる
展開に。結果は7m04。
坂田はわずか1cm差で優
勝。見事、星槎国際湘南
陸上競技部から初の関東
チャンピオンが誕生した。
20日の2日目。男子円
盤投に佐藤が出場。出場
者ランキングは8位。決
勝進出と40mスローを目
標に臨んだ。佐藤は高校
で力をつけてきた選手
のため、対外公式戦は初
めて落ち着きがなく、現
地入りしてから緊張が
隠せない様子であった。
そのため練習から感覚
が合わずに、それが焦り
を生み、悪循環に繋がる。
試技順7番目の1投目、
ベストから程遠い33m41。
焦りがそのまま出しま
う。修正し臨んだ2投目、
37mと少し本来に近づき、
38mを投げれば決勝に進
むことができる中での投

出せるように頑張ってい
きたいと思えます。応援
ありがとうございました。

VOICE
坂田生成
高校では初めての県外
での公式戦で緊張もしま
したが、試合には自分の
リズムで臨むことができ
ました。跳躍では、日頃
のスピードトレーニング
の成果を発揮することが
できたので、練習の成果
が出たと思います。これ
で満足せず冬季の練習
も頑張るつもりです。

佐藤ロバート
今回初めての対外公式
戦ということで完全に
困窮に吞まれてしま
いました。この経験を
できたので、練習の
成果が出たと思
います。応援ありが
とうございました。

今期は全日本の出場権
も含め、I SU世界ジュ
ニアアグランプリファイ
ナル(イタリア・トリノ)出
場権獲得、ユースオリン
ピック(スイス・ローザン
ヌ)、世界ジュニアの出場
を目指してさらに技術を
磨いて4回転の精度をあ
げ、スピニングやスケー
ティング技術を向上させ世
界に挑戦していきます。
頑張っていけますので
応援をお願いします。

未来に向けて
スポーツを超えブータン王国
ワンチュク国王より
謝意表明

天皇陛下下の「即位礼正殿の儀」に参列するためブータン王国よりジグミ・ケサル・ナムゲル・ワンチュク国王陛下夫妻と長男のジグメ・ナムゲル王子が来日しました。離日される前、ブータン王国名誉領事館並びに日本ブータン友好協会主催によるブータンワンチュク国王夫妻を歓迎する会が都内、帝国ホテルで開かれました。

日本の政治家、農業・農村開発、経済基盤整備、社会開発等、多岐にわたる長きに渡りブータンに関わ

り支えて来られた方、日本に留学しているブータン国民(約120人)、もちろん、その中には、宮澤保夫会長をはじめ星槎グループに留学しているアスリート高校生・大学生も出席しました。歓迎会には600人以上の人が出席しました。

ワンチュク国王陛下夫妻とナムゲル王子は民族衣装に身を包み、盛大な拍手のなか笑顔で会場へ入場されました。歓迎会の挨拶場面では、ワンチュク国王陛下から「2011年に続いて2回

目となる訪日で、即位礼正殿の儀に出席することができて嬉しい。ブータンは日本の親しい友人であり続けることをお伝えしたい。これまで33年間にわたる日本からの様々な支援に感謝している。青年海外協力隊にはブータンで日本の親善大使として活躍いただいていることにも感謝したい。」と話されました。

そして、長きに渡る日本とブータン王国との友好関係に触れた際、ワンチュク国王より直々に星槎グループの宮澤会長へ「ブータン王国が東京オリンピックに参加を実現するために大変ご尽力を頂いている。更なるご協力とご支援をお願いしたい。宮澤会長のご好意に大変感謝しています。」と述べて頂きました。

渦

星槎国際湘南初の体育祭が10月24日(木)、星槎湘南大磯キャンパスにて開催された。今回の体育祭は全学年縦割り、赤、青、緑の3色に分かれ、対抗戦を行った。スポーツに特化した学校ならではの、大盛況であったのはもちろん、専攻・学年、クラス、垣根を越えて交流ができ、学校が一つにまとまることのできた。

男子サッカーが各専攻の応援歌を盛り上げる。その後、野球vsサッカーの応援合戦が始まった。まるでラグビーW杯でニュージランド代表が試合前に行った「ハカ」を見ているようであった。この応援合戦はまるで生きている「渦」のようである。この応援合戦を最初

に特化した学校ならではの、大盛況であったのはもちろん、専攻・学年、クラス、垣根を越えて交流ができ、学校が一つにまとまることのできた。

根を越えて一つにまとまる。調和されたハーモニーとなり、大合唱を奏でた。この大合唱はキャンパスを揺り動かすほど凄まじいものであり、教職員は圧倒されてしまった。あの光景は生徒、保護者、教職員一人ひとりにとって忘れられないものとなったはずだ。

体育祭に突如として発生したあの渦は、まさに「人を排除しない、人を認める、仲間を作る」という星槎の3つの約束を具体的な形として体現したものであった。その渦を起したのは生徒自身である。今回の体育祭で生徒は「人と人をつなぐ力」を魅せてくれた。

（星槎国際湘南 佐々木雄大）



宮澤会長とワンチュク国王(右)



加藤登紀子さん、星槎ブータン留学生と

神奈川県高等学校バスケットボール
新人大会
西支部予選開幕

11月4日から令和元年度神奈川県高等学校バスケットボール新人大会西支部予選が開幕した。我々、星槎国際湘南は西湘地区第5シードのため2回戦からの試合となった。対戦相手は相洋高等学校。

試合運びは連続得点から、自分たちのミスからの失点などで一時は、11点のビハインドとなる苦しい時間帯となる。

しかし、シード校としてのプライドを見せるかのように、主将である水本達也がチームを鼓舞するプレーと声かけでチームを立て直した。



男子バスケットボール専攻

ら優位に進めるも、相手の確率の良い外角のシュートなどが決まり一進一退の攻防が続く。均衡した前半にチャンスを作ったのは、途中出場の熊倉輝皓の速攻と3ポイントシュート。流れを渡さなく、3ポイントで前半を終えた。

後半第3クォーターは良いパス展開からシュートを決めるも、すぐに相手に決め返され均衡した試合展開となり、自分たちのミスからの失点などで一時は、11点のビハインドとなる苦しい時間帯となる。

しかし、シード校としてのプライドを見せるかのように、主将である水本達也がチームを鼓舞するプレーと声かけでチームを立て直した。

DFを更に激しくし相手にプレッシャーをかけミスを誘発し連続得点に成功。その中でも、高橋剣斗が後半に気持ちを立て直して、3連続3ポイントシュートを沈め逆転に成功し存在感を放った。そして、第4クォーターに臨む。

第4クォーターが始まる前に「走る」と「リバウンド」といったチームの目標を再確認し選手を送り出した。チーム全員が目標を合致させることで躍動し、第3クォーターの勢いのまま優位に試合を進めた。相手のファールトラブルもありアグレッシブなプレーで会場を沸かした。水野裕哉のしつこいDFと杉本巧汰のダイナミックなプレーと力強いリバウンドが光った。そして、最後まで全員で走り勝ち97-83で勝利を収めた。この試合で一人ひとりの良いプレーが見られ、また成長を感じ



「台風の日」で優勝！歓喜を分かち合う仲間たち

スポーツと街づくりと学びの実践へ

日本ボールパーク学会が北広島市で始動！

2023年、北海道北広島市に、北海道日本ハムファイターズが現在の札幌ドームから本拠地を移す。

その球場を中心にしたボールパーク建設工事がすでに始まっている。それを受けて、星槎道都大学の研究者らが中心となり、「日本ボールパーク学会」が発足し、11月2日にその設立記念講演会が行われた。

講演会では、広島カープの本拠地であり、ボールパークの先進事例として成果を上げているマツダスタジアムの建設にかかわった日高洋・広島市経済観光局長が講演。広島での具体的な事例を交えて、北海道のボールパークの可能性について、さまざまな話が語られた。

「日本ボールパーク学会は、その設立趣意書で以下のよう謳っている。『大規模な事業であるボールパークに関連する産業等の分野は、経済、経営、建築、デザイン、土木、交通、環境、観光、スポーツ、地方財政、街づくり、社会福祉等と非常に幅広く、また、数万人以上の観客が広範囲から集まると予想されることから、北海道においては、北広島市周辺だけでなく北海道経済発展の起爆剤になる可能性が十分にあると考えられます。また、多くの来場者と内部で働く人々の交通手段の確保や安全管理、飲食料の供給、電力等のエネルギーの供給、防災及び街づくり等の観点からも非常に公共性の高い事業であると言えます。』

（中略）私たちは、この非常に幅広い関連分野を持ち、かつ公共性の高いボールパークを一つの学問領域と捉え、広範な知見を集約して整理するとともに、そこに含まれる智慧を見出して社会に提示することで、経済やスポーツ文化の発展及び地域活性化など公共の福祉に貢献したいと考えます。』

その日の午後は、大学開放デーとして「ボールパークに負けない街作り」というテーマのシンポジウムが行われた。草野球チームを全国から招いて試合を行うツアーを商品化し、町おこしを成功させた徳島県阿南市から田上重之参与を招き、その具体例を学びつつ、これからのスポーツを通じた北広島市の街作りについての話し合いが行われた。

また、建築学科と経営学科の学生が北広島市街づくりについての研究発表があった。

参加した市民や学生からは「広島の努力の結果に感心した。北広島でもこの結果につなげられるように期待したい。」

「頭の固い役人の発想ではダメ。今日のように学生さんの柔軟な頭で考え、北広島全体に色をつけて欲しい。」

「街おこしに成功している街は、市民が具体的に街づくりに参加している、その意識が高い」ということがよく理解できた。」などの意見がきかれた。

緊張していてもベストパフォーマンスを発揮するために

オピニオン

星槎国際八王子副センター長 坂本英之

皆さんもスポーツの試合で、「このシュートを決めれば勝ち」「この一打で逆転」残り時間わずか「など、手に汗握る場面を見たことがあるでしょう。このとき、実際に試合に出ている選手たちの緊張やプレッシャーは計り知れないものがあります。そんな場面でもトッパースリットは、緊張やプレッシャーを自分自身でコントロールしながら、試合で結果を残しています。この自分自身のメンタルをコントロール

「呼吸」に注目

呼吸は皆さんの無意識を反映しています。緊張しているときやストレスを感じているときは浅く早く、リラックスしているときには深くゆっくり呼吸になっていきます。呼吸と感情は密接につながっていることで、呼吸を意識することによって緊張もコントロールできるようになります。ゆっくり深い呼吸を意識することによって、こころの状態をリラックスした状態に切り替えることができます。

- ① 背筋を伸ばして座ります（もしくは立ちます）。
- ② 丹田に手を軽く添えます。
- ③ まずは息を吐き切り、4秒数えながら、ゆっくり鼻から息を吸い、丹田まで空気を吸い込む感覚で息を吸います。（この時、丹田にある風船がふくらんでいくイメージを持ちながら息を吸うと効果的です）
- ④ 吸い終わったら、2秒間息をとめます。
- ⑤ 8秒数えながら息を吐き切ります。（この時、丹田にある風船がふくらんでいくイメージを持ちながら息を吐くことで効果的です）
- ⑥ この後は、④⑤を数分間繰り返します。

試合で緊張してしまふ場面は選手によってそれぞれだと思えますが、心臓がバクバクしてきたときなどにまず試してみてください。この深い呼吸で気持ちを整える方法は、緊張した場面だけでなく日常生活に取り入れて繰り返していくと、何かトラブルが起きたときにも、動じることなく落ち着いた状態でいられるようになってくる

呼吸を意識が向いているので、他の考えから気持ちを切り替えることもなります。自分の夢に向かって自分自身のメンタルをコントロールしていきましょ。

ニュース速報

6年連続、高等学校女子サッカー選手権大会へ出場決定

第28回 関東高等学校女子サッカー選手権大会2回戦が11月10日（日）に行われ、星槎国際湘南女子サッカー専攻は栃木県第一代表の宇都宮文星高等学校に対し、前半 3-0、後半 1-0、合計 4-0で勝利した。

この結果により6年連続で全国大会出場を決めた。詳細は次号で。

星槎国際湘南女子バスケットボール専攻が県大会出場へ

神奈川県高等学校新人大会西支部予選で湘南高等学校に対し、67-47で勝利し、1月に行われる県大会への出場が決まった。試合は、星槎国際湘南が序盤から大量リードしたが、自分たちのターンオーバーから徐々に点差を詰められ、最終的には先行逃げ切りの試合結果だった。詳細は次号で

星槎国際旭川キャンパス レスリング部始動

2019年11月1日にオープンした星槎国際旭川キャンパスでは、地域に根差し、地域を盛り上げる学校づくりとして、インターハイ出場を目標に「レスリング部」の設立を準備している。詳細は次号で

星槎教師列伝

恩師が私の人生を変えてくれた 星槎国際高松 教諭 安田彩花

私が剣道を始めたのは、小学校に上がった頃だ。きっかけは、兄が剣道を習っており、相手に一生懸命掛かっていく姿がかっこいいと思ったからである。

幼少期の自分は、引っこみ思案でピアノの陰に隠れているような性格だった。しかし、剣道の稽古を見るとワクワクした。剣道を習い始め、最初の3年間は地域のスポーツ少年団に通っていた。そこでは、週に2、3回の稽古で当時は満足していた。しかし、ある先生との出会いにより、私の気持ちは徐々に変化していったのである。

それは、小学3年の頃、いつも通り稽古に励んでいたら、見知らぬ先生が入ってきて、黙って、椅子に座って私たちを見ていたのだ。その視線が恐くもあった。それからいつものメニューを変更し

たり、厳しい稽古が増えたりと、一体この人は何者なんだ！と思うようになった。その方は後の恩師である岩部広志先生である。

数日して、初めて試合に出場することになった。しかし、結果は惨敗。その時初めて、悔しさや悲しさが芽生えた。それからの稽古に対する熱量も変わらなくなった。勝つ、勝ちたいと思うようになった。

ある日、岩部先生から「道場を建てるから日本一になりたいやつは来い！」と言われた。私は、今まで一緒に汗を流してきた仲間と離れるのは辛かったが、道場に行くことを決断した。道場の稽古はスポーツ少年団での稽古より遥かに厳しく、休みなど無かったが充実し、何よりできなかった技ができるようになった喜びが増えた。大会



では、徐々に勝てるようになり、小学校最後の全国大会では2冠を達成することができた。

それから、中学、高校、大学と進学し青春のすべてを剣道に注ぎ込んだ。社会人になり、3年間一般企業に勤めていた。その3年間はなかなか剣道をするのができず、悩むこともあった。ある日、岩部先生から電話で、「また日本一を目指さないか？」と言われた。その時、幼い頃に感じたワクワク感を思い出した。

このことがきっかけで、星槎国際高松に入職し、今では岩部先生、道場の先輩でもあった山下先生と共に剣道コースを立ち上げ、「日本一」を目指して邁進している。岩部先生に出会わなけ

れば大人になっても剣道を続けることはなかっただろうし、何より、全国にたくさん仲間ができることもなかった。いろいろな縁があり、また、その縁を大切にできたからこそ、今では星槎と出会うことができ、剣道を続けることができている。

これから先、長い人生を歩んでいく高校生に、出会いや縁を大切にすることを教えていきたい。そして、大人になって、悩んだときや苦しい時、辛い時に何かのきっかけでその縁が人生を良い方向へ変えてくれると信じている。

セイスポ

武田悠希は中学生ながら毎年好成績を残している八王子に、敢て投げ込んだ。一方、打線は八王子打線が爆発。その

ない攻撃で点を重ね、13-0で八王子が勝利した。大阪の生徒は前日から長距離移動で疲労が残る状態であったが、明るい雰囲気ですごく印象的なチーム。一方、柏は投手の西村大宇を中心としたチーム。大阪はショート

の長岡太陽を中心に試合中にもチームメイトが鼓舞し合い、有利な展開に

9月25日に多摩川緑地野球場で行われた予選大会は全国から15チームが参加し、熱戦が繰り広げられた。

予選大会で強く感じたことは、野球が得意・不得意も関係なく、ボールを一生懸命走って追っていく。そんな一生懸命な姿がすごく印象的だった。また、予選大会では通信競技も行われ各校舎の交流が見られた。

10月7日予選大会を勝ち抜いた4チームが決勝大会に進み、決勝大会は星槎国際湘南の硬式野球専攻が使用している「宮澤スタジアム」で行われた。台風の影響もあり宮澤スタジアムでの開催が危ぶまれたが硬式野球部の生徒、多くの関係者の方々の協力で無事、試合を行うことができた。

決勝大会の組み合わせ
■第一試合 星槎国際横浜 鴨居 vs 星槎国際八王子
■第二試合 柏キャンパス vs 星槎国際大阪

横浜鴨居の武田悠希、八王子の原島康生の両投手の投げ合いが始まった第一試合。速球派の原島康生に対して、武田悠希は変化球を中心としたピッチング。横浜鴨居の

武田悠希は中学生ながら毎年好成績を残している八王子に、敢て投げ込んだ。一方、打線は八王子打線が爆発。その

試合を運んだ。柏の西村大宇も予選大会同様、力強いピッチングを披露した。自チームにエラーが出てしまったときなどにチームメイトに声をかけるなど、心身の成長が見られる試合だった。結果は15-0で大阪が勝利し、決勝にコマを進めた。

小雨が降り続く中の決勝戦が行われた。八王子の伊藤叶汰と大阪の西勇輝の両投手の投げ合い。両投手とも好投し、息詰まるシーソーゲーム。両チーム同点のまま最終回を終え、特別延長戦に突入。ここで、大阪の投手は長岡太陽へスイッチ。降板した左腕の西勇輝はそのまま左手にグローブをはめセカンドのポジションへ。なんとこの西勇輝は両投げ選手。私も数多くの選手を見てきたが、両投げの選手は初めて見た。しかしながら、特別延長に入っても決着つかず。再び特別延長戦の末に八王子がサヨナラで大阪を下し、第18回 宮澤杯野球大会を優勝で飾った。



準優勝 星槎国際大阪



優勝 星槎国際八王子

第18回宮澤杯野球大会を終えて

試合を運んだ。柏の西村大宇も予選大会同様、力強いピッチングを披露した。自チームにエラーが出てしまったときなどにチームメイトに声をかけるなど、心身の成長が見られる試合だった。結果は15-0で大阪が勝利し、決勝にコマを進めた。

小雨が降り続く中の決勝戦が行われた。八王子の伊藤叶汰と大阪の西勇輝の両投手の投げ合い。両投手とも好投し、息詰まるシーソーゲーム。両チーム同点のまま最終回を終え、特別延長戦に突入。ここで、大阪の投手は長岡太陽へスイッチ。降板した左腕の西勇輝はそのまま左手にグローブをはめセカンドのポジションへ。なんとこの西勇輝は両投げ選手。私も数多くの選手を見てきたが、両投げの選手は初めて見た。しかしながら、特別延長に入っても決着つかず。再び特別延長戦の末に八王子がサヨナラで大阪を下し、第18回 宮澤杯野球大会を優勝で飾った。

神奈川県西支部



試合に向かって

新人戦について

11月3日から、神奈川県高等学校新人大会西支部予選がはじまった。東

西南北の各支部で12チームが県大会出場の出場権を得ることができる。

そして、県大会の優勝、準優勝チームは関東高等学校新人大会の出場権が得られる。新人戦前は県外の力のあるチームと試合を重ね、経験値と耐性が徐々に身についていった。星槎国際湘南女子バスケットボール専攻の目標は、西支部優勝だ。もちろん、目の前の一戦一戦を大切に。そして、皆さんが感動するよう、努めていきたい。

さて、11月4日に行われた初戦の試合結果について述べてい。支部大会初戦のカードは、創部間もない星槎国際湘南と、県立大船高等学校との対戦となった。第1Q 星槎はオールコートマンツーマン、大船はハーフコートマンツーマンでスタート。序盤から星槎優位の試合運び

となった。星槎#6長田琉愛がゴール下シュートを連続で外したがスリーポイントで得点を重ねた。続けて、星槎#7吉岡寧、#10加倉澤奈のドライブから得点や速攻からのイージーシュートでさらに得点を重ね、51-2で第1Q終了。第2Q 序盤から星槎が攻勢をかける中、大船は攻める術がない。星槎#9若狭月瑠のリバウンドが勢力を増し、前半終了。90-5と、星槎が大幅にリードを広げた。第3Q 前半同様に星槎の勢いが止まらない。大船はミスが減らず、ほぼワンサイドゲームのような状況になる。しかし、スポーツはノーサイドゲームが好ましいだろう。星槎#12溝口瑠夏のドライブインをはじめ、#7吉岡

寧の1対1、#6長田琉愛のスリーポイント、#9若狭月瑠のリバウンド、#10加倉澤奈の1対1で得点を重ね、128-7で第3Qが終了。第4Q 星槎はオールコートマンツーマン、大船はハーフコートマンツーマンでスタート。大船は諦めることなく粘りを前につけて、星槎の勢いを前に中々攻められない。最終的に149-12で星槎が初戦を勝利した。一方、力の差があるにも関わらず、たった5名で最後までチャレンジを続けた大船高校を称賛したい。課題は山積みではあるが、引き続き、気を引き締めて試合に臨みたい。(星槎国際湘南 女子バスケットボール 監督 崔純也)

2020東京オリンピックへの第1歩

10月20日(土)富岡アーチェリー場にて行われた2019年度横浜50m・60m・70mラウンド大会に参加。今記録会には次



夢の舞台へ再びチャレンジ

週に全日本選手権があり最終調整のため参加しているトップ選手が数多くいた。選手たちにとって今年の選手権は2020東京オリンピックの1次選考会でもあるため、非常に緊迫した試合であった。今大会に参加したアーチェリー専攻の留学生ニダップ・ドルジとソナム・チョデンも今大会には大きな意味があった。

12月ネパールで行われる南アジア大会のブライタン代表選手選考時の参考記録となり、留学生にとっても今大会はいわば、2020東京オリンピック選考の1次予選会だ。大事な試合ということもあり、試合開始前からどこか落ち着きがなく緊張している様子。試合が始まると、緊張からリズムが出ず思うように射てない。大きなミスをしてしまうと余計に緊張してしまい体が硬くなってしまふ。前半1回目は二人共思うような点数を出すことができなかった。後半は徐々にリズムを取り戻し、前半よりも良いリズムで射つ事ができた。代表選考がかかる重圧が強いのか、中々、まず72本射ち切ったことを称えたい。しかし、結果は選手たちが思うような点数ではなかった。今大会

試合結果

ソナム チョデン	1回目	271点
	2回目	261点
合計		532点
ニダップ ドルジ	1回目	256点
	2回目	288点
合計		544点

JTB 感動のそばに、いつも。

JTBでは旅行のお手伝い始まり、次世代を担う「教育」もお手伝いしています。

株式会社JTB 神奈川西支店
〒254-0034
神奈川県平塚市宝町3-1 MNビル4階
TEL:0463-23-5160 FAX:0463-23-9057

オフィスの「ない」をすぐにお届け!

たのめーる 豊富な品ぞろえのオフィス用品通販なら「たのめーる」 検索と検索ください!

送料無料で経費削減! 約110万点の品ぞろえ! 当日・翌日お届け!

たのめーる 大塚商会 <https://www.tanomail.com/>

株式会社大塚商会 東京本社 〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4 札幌・仙台・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡

箱根駅伝の名シーンを記録した貴重な写真や往年の名選手が愛用した品々、そして真剣勝負の裏側にある様々なエピソードなどテーマを区切って展示しています。

箱根駅伝ミュージアム HAKONE EKIDEN MUSEUM

神奈川県足柄下郡 箱根町箱根167
TEL 0460-83-7511